

## 第12回 病態生化学セミナーのご案内

日時：平成20年8月20日（水曜日）午後6時半～

場所：医学部看護学科棟3階 会議室

演題：学習・記憶におけるシナプス可塑性の分子メカニズム

- グルタミン酸レセプターによる神経機能の制御 -

演者：高宮 考悟 先生 (Kogo Takamiya, MD/PhD)

Assistant Professor

Department of Neurosurgery and Neuroscience

The Johns Hopkins University School of Medicine

学習や記憶は、近年の研究により下等な動物においてもその単純なものが観察されることが報告されています。しかし、高次の脳神経機能は、われわれ人間が人間たるために与えられた、進化の過程で築き上げられた大変複雑でありながら非常に洗練された高度な神経システムです。われわれの脳における学習・記憶のメカニズムを解明するために、現在まで多くの研究者が多大の労力を費やしてきました。特に、その基本となる神経機能であるシナプス可塑性の分子メカニズムの解明は、過去30年間の研究の末、近年急速にその詳細がわかってきました。

本セミナーにおいては、シナプス可塑性の分子メカニズムの最近の進歩を、グルタミン酸レセプターに焦点を絞った私の研究を中心にご紹介したいと思います。【高宮 考悟】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp